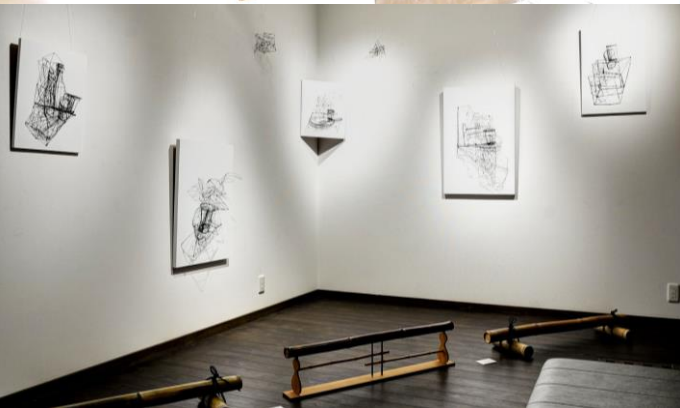


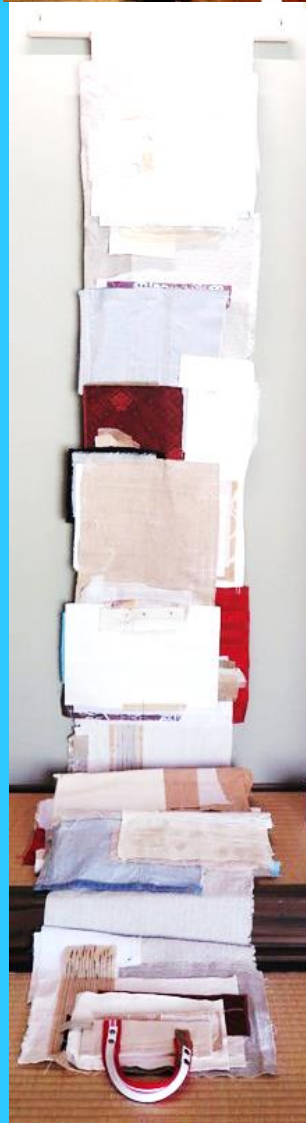
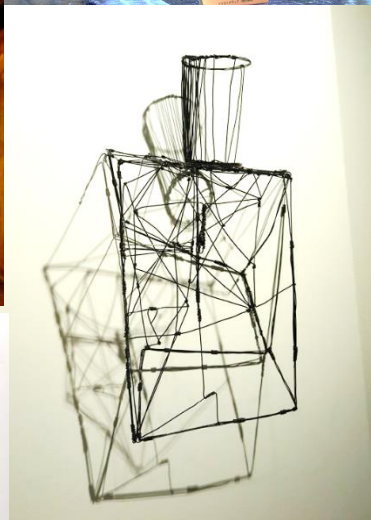
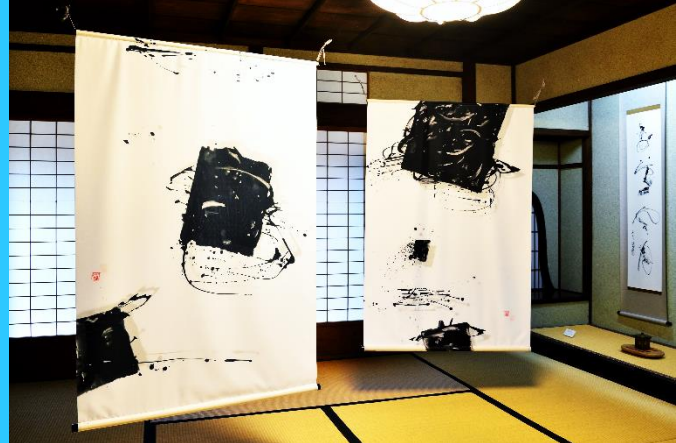


奈良町にぎわい通信

Vol.55

二〇一九・立冬〜小雪

発行
奈良町
にぎわいの家



奈良町にぎわいの家「現代和みアートフェス」



朗読劇「町家よ語れ」満員御礼！（作・演出 小野小町）



四季の茶会 吉川宗文社中



当館・堀内による
町家の解説後に
朗読。町家が近代～
現代まで、町の様子
を語ります。



かまど体験100回記念！
当館のかまど担当・西村が
これまでの体験の様子を
伝え、皆でかまどおにぎり
をいただきました。



海外のお客様も
茶会体験！



奈良町にぎわいの家 10月のイベントから



染めて遊ぼう



自分だけの
きれいな模様
できました！



10月恒例！奈良町全体で わらべうたフェスタ



けん玉大会

紙すもう大会



「海外のお客様インタビュー」Vol.2 フランスより



Name ミッシェルさん&エリザベスさん

Country フランス

Age 70歳&67歳

Interview 2019/10/28

(コーディネート 英訳スタッフ 辻雅子)



Q1. 奈良は初めてですか？選んだ理由は？

奈良は初めてです。歴史のある場所ということと、神社やお寺に興味があり、選びました。退職後、ツアーとかでない、個人旅行を楽しんでいます。

Q2. 奈良のどこが気に入りましたか？

やはり、神社仏閣にひかれました。昔ながらの時間を感じられる空間が多いのは素晴らしいですね。また、緑が多いのも良いところです。奈良公園もそうですし、各所のお庭のただずまいにもひかれました。

Q3. 当館をどう思いますか？お気に入りの場所で写真をとりたいです。

とても快適で心地良い家ですね。自然なスタイルが気持ちいいです。庭の見えるところがよいので、そこで写真をとってください。

Q4. これからどこへ行かれますか？

伊勢に行きます。海女に会いにいきたいです。海女のことは、三島由紀夫の小説『潮騒』で知りました。伊勢の海が舞台となっている物語、とても興味を持ちました。（『潮騒』の話の時、エリザベスさんは、指でかき回す動作を。）

Q5. お土産は何を買いましたか？

筆とポストカード。スーツケースで来ていないので小さなものを購入します。

Q6. あなたにとっての「家」とは？ 気楽に友達を呼んで楽しむ場所。また、建物にはこだわらない。自然でいられる場所。

お二人から、小説『潮騒』の話が出た時にはびっくりしました。三島作品は、早くから海外に紹介され世界的に有名ですが、日本の文学から興味をもって訪れてくださるのは、まさに文化と観光が結びついていることですね。とても素敵なペンケースをお持ちで、なんと「ヤモリ」が！以前、タイに行った時に購入されたとのこと。英訳の辻さんが「ヤモリは家の守り神」と伝えました。続く伊勢の旅のお話も聞きたくなるような、素敵なお二人でした。

(構成・文 おのこまち)

蔵展示 平城西&伏見中学校による 切り絵の世界

毎年、春と秋に開催してきた「奈良町にぎわいの花、咲かそう」。今回は、大菊の三本仕立てで格子を飾りました。道行く方々の目にも留まり、釣られて館内に入られるお客様も多く予想以上の菊効果です。外国の方の中には「chrysanthemum（菊）」と分からない方もいるようで、説明すると喜んで写真を撮って行かれます。

さて、少々古いイメージの菊作り、若い(?) 私たちが裏庭で育てていました。春の小さな苗から鉢を2回替え、枝を3つに分けて、支柱を立てて、輪台を付けて・・・と書くと大変そうですが、スタッフで少しずつ世話をすれば結構楽しいものです。今年は途中で枝を折ってしまうことなく、11鉢すべて無事に咲いてくれました。本当は花形をもっと盛り盛りにしたいのですが、昨年も一昨年も夏の暑さでダメだったことを思えばそこは欲張らず(笑)。

元は亡父の遺した菊資材を活かそうと材料持ち込みで始めた菊作りですが、こうして皆様の目を喜ばすことが出来て嬉しいのです。ご近所の皆さん、来年一緒に咲かせませんか。なお、奈良市役所の平城宮跡菊花大会にも出展しました。審査結果は乞うご期待！(事務局 堀内)



シンデレラの馬車のかぼちやは
美味しいよ、
おかしそうか
冬至の夜長

シンデレラの馬車のかぼちやは、
美味しそう。冬至の夜、沢山、
お話を聞いて話して、
夜長を楽しみましょう。

オリジナル節氣短歌
喜多隆子(歌人)
節氣マーク
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)

事務局だより

2019
小雪

アナログの想像力

事務局長 藤野正文

年末の十二月、二十四節気では、「大雪」が過ぎて「冬至」になります。今年の秋はすごく短く、夏から冬への移り変わりが早いように感じます。さらに十二月は一年を締めくくりの月なのでなぜか気ぜわしくなりますね。お歳暮、年賀状書き、大掃除、おせち料理・お雑煮の準備、正月飾りの準備、年末セール・クリスマス・年末ジャンボ宝くじ・忘年会と色んなことが目白押しです。

最近、デジタルによる情報処理、効率的な合理的なものの考えかたによって、ますます時の流れが速くなってきたように思います。様々な知りたい情報が手軽に知ることができるとはありがたいのですが、反対に個人情報をはじめ、さまざまな情報が知らないところ（ブラックボックス）でデータ化されて流通・利用され、拡散される。仮想のデジタル世界が出来、平均化された、画一化された価値観が増幅されつつあり、その中で個々の人間の価値もデジタル化され、管理される。そんな世界になる危惧さえ抱く気持ちになります。また、この社会の流れについていけない人の間でさらなる格差が拡大し、一層の隔離が

はじまり、脱落する人が増えていく気もします。
とはいえ、私たちは日々のアナログの世界の中で、口と耳で人と会話を交わし、手と口と目と鼻で食事をし、足と指と全身を使っています。この奈良町には、画一化されていないアナログの世界、違っていたり前の自然の材料で形作られた世界、過去からよみがえる空想の世界にあふれていると思います。そんな奈良町と奈良町にぎわいの家をさらに大切にしていきたいと思っています。

現代なごみアートフェス(今号表紙)

当館全館での現代アート展。身近な素材(布、ワイヤー他)で、書を始め、多彩なジャンルが町家に全開！キュレーターイチゴドロボウさん、作家の皆さん、ありがとうございました。

八重柏冬雷氏

三枝聡氏



フランスからスケッチ旅！

当館の円窓、仏間、しつらえもスケッチ帳に。コラージュもされたり、なんともお洒落！



習字 & 水墨画体験
墨の世界を楽しみながらも、皆さんつまみ！



奈良町にぎわい通信vol.55

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書：逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



立冬

11/8~21



小雪

11/22~12/6

冬鳥の声のひびきの高き朝
カシミヤのコート着て出でゆかむ

前登志夫